2026年度第2四半期（中間期）決算の概要及び 2026年度業績予想の概要

三井化学株式会社

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2026年11月11日

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

目次

1. 決算及び業績予想のポイント

1）2026年度第2四半期（中間期）決算のポイント ･･･1
2）2026年度業績予想のポイント ･･･2
3）Ultradent Products, Inc.取得に伴う業績影響 ･･･3

2. 2026年度第2四半期（中間期）決算の概要

1）主要関連市場動向 ･･･5
2）主な投資案件等の状況 ･･･6
3）第2四半期（中間期）決算の概要 ･･･7-8
4）セグメント別 売上収益/コア営業利益増減（対前年同期） ･･･9
5）セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年同期） ･･･10-13
6）非経常項目の内訳 ･･･14
7）財政状態計算書 ･･･15
8）キャッシュ･フロー計算書 ･･･16

3. 2026年度業績予想の概要

1）業績予想の概要 ･･･18-19
2）セグメント別 売上収益/コア営業利益予想（対前年） ･･･20
3）セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年） ･･･21-24
4）セグメント別 コア営業利益増減（上期→下期） ･･･25
5）キャッシュ･フロー計算書の予想 ･･･26

4. 補助資料 ･･･28-34

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

1. 決算及び業績予想のポイント

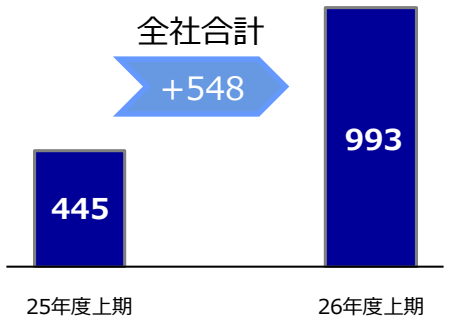
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

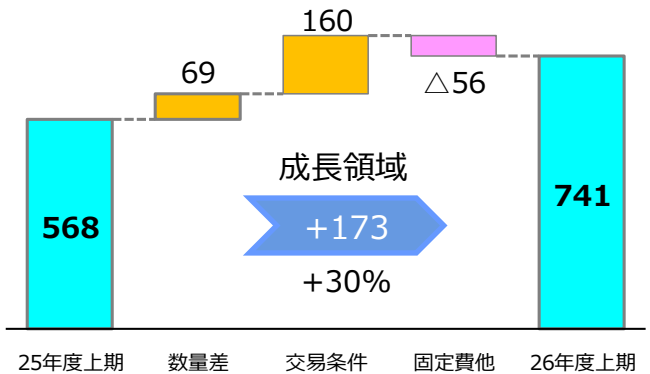
1）2026年度第2四半期（中間期）決算のポイント：コア営業利益

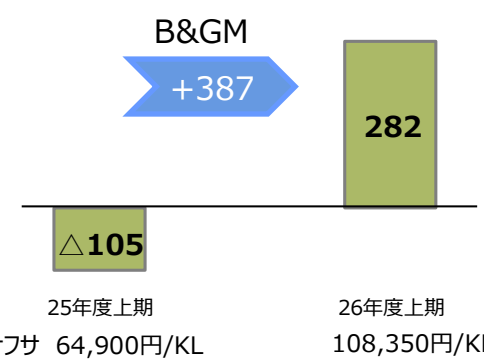
- 上期の国産ナフサ価格は108,350円/KLとなり、前年同期比+43,450円/KLの上昇となった。（1Q:118,900円/KL、2Q:97,800円/KL）
- 全社のコア営業利益は、中東情勢の影響による損失はあったものの、成長領域での販売数量拡大、各セグメントにおける構造改善効果の発現、円安による為替差益、ベーシック&グリーン・マテリアルズ(B&GM)を中心としたナフサ価格高騰に伴う一過性の在庫評価益等により、前年同期比+548億円増益の993億円となった。
  - **成長領域**は、ライフ&ヘルスケア・ソリューション及びICTソリューションの販売数量が堅調に推移し、価格改定や円安による為替差益もあったことから、前年同期比+173億円(+30%)増益の741億円となった。
  - **B&GM**は、中東情勢の影響があったものの、25年度に実施した構造改善効果の発現、合理化等に加え、ナフサ価格高騰に伴う一過性の在庫評価益等により、前年同期比+387億円増益の282億円となった。
  - **中東情勢の影響***は、B&GM及びモビリティソリューションを中心に、減産・減販及び収率・エネルギー効率悪化等により△60億円程度となった。
    (*原料価格変動に伴う在庫評価損益等を除く。)

■コア営業利益増減

(億円)







国産ナフサ　64,900円/KL　108,350円/KL

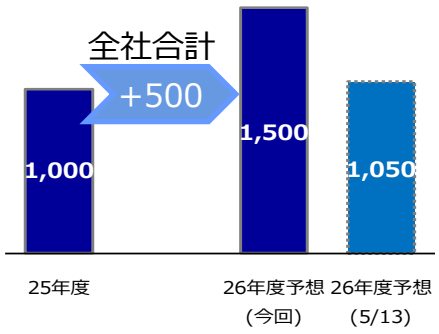
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

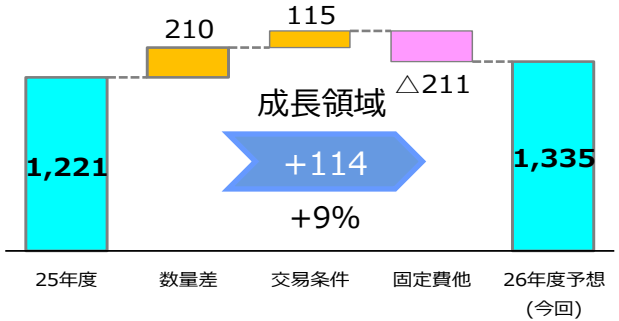
2）2026年度業績予想のポイント：コア営業利益

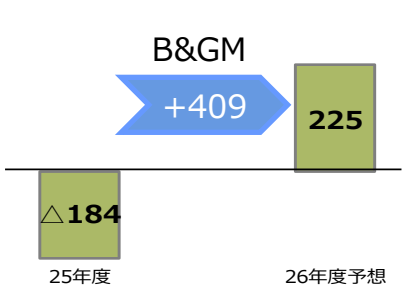
- 通期の国産ナフサ価格は、前年比+36,400円/KL上昇の101,700円/KLを見込む。（下期前提:95千円/KL。上期比△13千円/KL）
- 全社のコア営業利益は、中東情勢の影響による損失はあるも、成長領域の事業拡大、各セグメントにおける構造改善効果の発現、円安による為替差益、ベーシック＆グリーン・マテリアルズ(B&GM)を中心としたナフサ価格高騰に伴う一過性の在庫評価益等により、前年度比+500億円増益の1,500億円を見込む。
  - **成長領域**は、主にモビリティソリューションでの中東情勢の影響、能力増強による償却費増加、Ultradent Products, Inc.(UPI)取得に伴う一過性費用等があるものの、UPI新規連結によるオーラルケアの事業領域拡大を始めとしたライフ&ヘルスケア・ソリューションの販売数量拡大、ICTソリューションでの販売数量拡大、円安による為替差益等により、前年同期比+114億円(+9%)増益の1,335億円を見込む。
  - **B&GM**は、中東情勢の影響はあるものの、25年度に実施した構造改善効果の発現、合理化等に加え、ナフサ価格高騰に伴う一過性の在庫評価益等により、前年同期比+409億円増益の225億円を見込む。一過性除く損益は40億円程度で黒字化の見通し。
  - **中東情勢の影響***は、B&GM及びモビリティソリューションを中心に、減産・減販及び収率・エネルギー効率悪化等により△80億円程度を見込む。
    (*原料価格変動に伴う在庫評価損益等を除く。)

■コア営業利益増減

(億円)





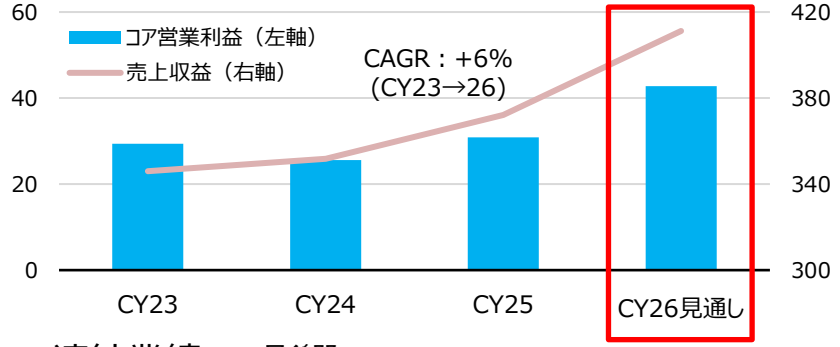


国産ナフサ　65,300円/KL　→　101,700円/KL

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

3）Ultradent Products, Inc.取得に伴う業績影響

◆UPIの年間業績推移（単位：MUSD）

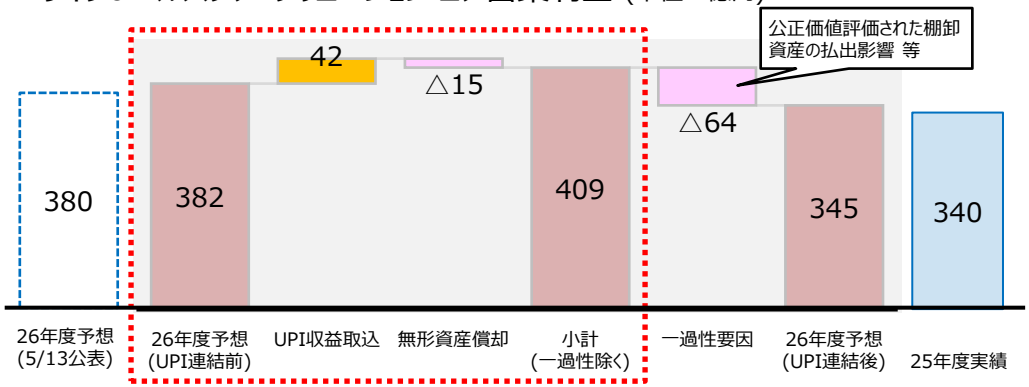


UPI単体【CY25⇒CY26】

- **売上収益**は販売数量増により、+10%の成長を見込む（CAGR(CY23→26)は、+6%の安定成長）
- **コア営業利益**は数量増により増益見込み。買収前後での処理変更も寄与。CY26のROSは、10%超を見込む

◆連結業績への影響

ライフ&ヘルスケア・ソリューション コア営業利益（単位：億円）



PMIを積極的に進め、
- 技術の掛け合わせによるイノベーションの推進
- 相互の販売網を通じた製品のクロスセル
- グループ運営体制の最適化

により、年40百万USD以上のシナジー効果の早期創出を目指して取り組み開始

※連結業績への影響は、8ヶ月分(2025年8月～2026年3月)を取り込んでいる。
無形資産償却 及び 公正価値評価された棚卸資産の払出影響額については暫定値であり、26年度第3四半期決算以降に変動する可能性あり。

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

2. 2026年度第2四半期（中間期）決算の概要

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

1）主要関連市場動向

関連市場		26年度 上期	対前年同期	26年度 下期予想	対前年同期
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	メガネレンズ市場	堅調に推移 (高屈折レンズ需要拡大)	↗	堅調に推移 (高屈折レンズ需要拡大)	↗
	歯科材料市場	堅調に推移	↗	堅調に推移	↗
	農薬市場	一部在庫調整はあるも 堅調に推移	→	一部在庫調整はあるも 堅調に推移	→
モビリティソリューション	自動車生産台数(世界) *		→		→
	日本 北米 中国 ASEAN 欧州	グローバルな生産台数に 大きな変化なし	→ → → → →	グローバルな生産台数に 大きな変化なし	→ → → → →
ICTソリューション	半導体市場	半導体需要好調	↗	半導体需要好調	↗
	スマートフォン市場	メモリ価格高騰による影響	↘	メモリ価格高騰による影響	↘
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	クラッカー稼働率	中東情勢の影響に伴う低稼働 (70%弱)	↘	低稼働継続 (70%程度)	→

* 外部機関参考による当社推定値

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

2）主な投資案件等の状況

	主な投資案件	時期	能力等	FY24	FY25	FY26	FY27以降
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	メガネレンズモノマー能力増強@Japan 2025.01.15公表	28年度上期	-				
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan 2026.06.03公表	29年度上期	-				
	DNAチップ研究所社完全子会社化	25年6月	-				
	米国 Ultradent Products, Inc. 取得	26年8月	-				
モビリティソリューション	タフマー®新設@Singapore	26年4月	120KT				
	高機能PP新設備@Japan	26年度下期	200KT				
ICTソリューション	イクロステープ™能力増強@Taiwan	24年6月	380万㎡				
	三井化学東セロの株式分割及び一部株式譲渡	24年4月	-				
	ポリウレタンディスパージョン(PUD)能力増強@Japan	25年6月	+100%				
	特殊イソシアネートXDI能力増強@Japan	25年9月	+20%				
	次世代EUV露光用CNTペリクル生産設備@Japan	26年12月	5千枚				
	半導体実装領域における材料開発強化に向けた出資	25年3月	-				
	JSR社買収 2026.11.09公表	27年度下期	-				
B&GM	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年9月	200KT				
	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea 2025.12.15公表	27年5月	100KT				
新事業・新製品	第2号CVCファンド(321Catalyst™)設立	25年5月	-				

最適化・再構築	ポリエチレンテレフタレート(PET)の生産停止@Japan	24年10月	△145KT	生産停止
	TDI生産能力最適化@Japan	25年7月	120KT→50KT	生産能力最適化
	市原フェノールの生産停止@Japan	25年10月	△190KT	生産停止
	フェノールJV持分譲渡@China	25年10月	-	持分譲渡
	国内ポリオレフィン事業統合	26年7月	-	生産最適化
	千葉地区LLPエチレン装置集約による生産最適化	27年度	-	生産最適化
	西日本エチレン製造設備の生産体制最適化およびグリーン化の推進	30年度目途	-	生産最適化
	モビリティセグメント子会社株式譲渡@Japan(産業資材)	25年4月	-	株式譲渡
	ICTセグメント子会社株式譲渡@Japan	24年9月	-	株式譲渡
	三フッ化窒素(NF3)生産停止@Japan	26年3月	-	生産停止

26年度 商業運転開始等

26年度 意思決定案件等

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

3-1 ）第2四半期（中間期）決算の概要

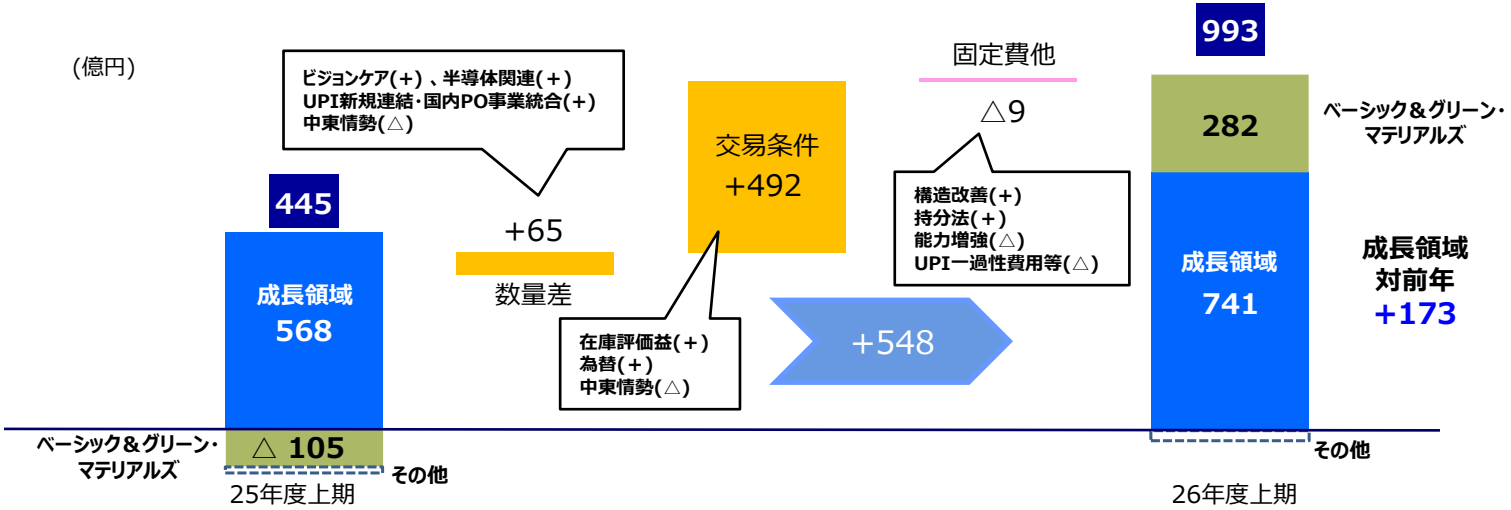
(単位：億円)

摘　　要	25年度 上期決算	26年度 上期決算	増減 （対前期）	増減率
売　上　収　益	8,136	9,791	1,655	20%
コ　ア　営　業　利　益	445	993	548	123%
（うち、持分法による投資損益）	89	140	51	-
非　経　常　項　目	△ 166	△　55	111	-
営　業　利　益	279	938	659	236%
金　融　収　益　・　費　用	△　17	△　32	△　15	-
税　引　前　中　間　利　益	262	906	644	246%
親会社の所有者に帰属する中間利益	78	588	510	650%
為替レート(円/US$)	146	159	+ 13	
国産ナフサ(円/KL)	64,900	108,350	+ 43,450	

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

3-2 ）第2四半期（中間期）決算の概要：コア営業利益（対前年同期）

項目	内容	
	主な増加要因(＋)	主な減少要因(△)
数量差	・ビジョンケアは、高屈レンズ需要拡大により販売数量増加 ・半導体関連は、生成AIの拡大による先端領域での需要増加 ・UPI新規連結・国内ポリオレフィン事業統合による販売の増加	中東情勢の影響による減産に伴う販売数量減少
交易条件	・原料価格上昇に伴う一過性の在庫評価益等 ・円安による為替差益	中東情勢の影響による減産に伴う収率・エネルギー効率の悪化
固定費他	・事業構造改善効果の発現 ・持分法投資損益の改善	・能力増強による償却費等の固定費増加 ・UPI取得に伴う一過性費用等



Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

4）セグメント別 売上収益/コア営業利益増減（対前年同期）

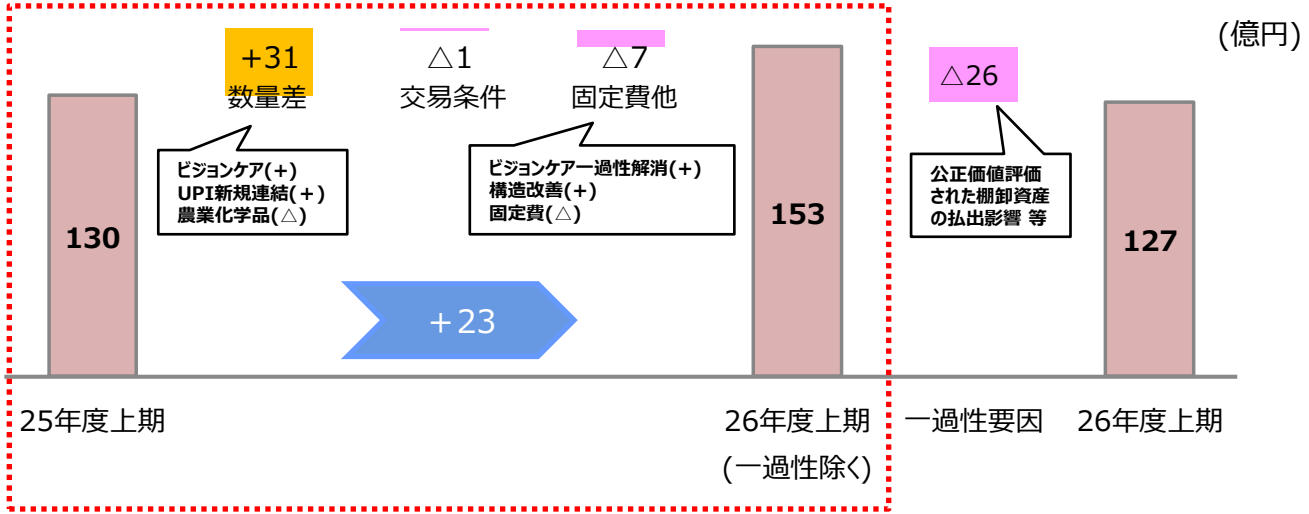
(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	25年度上期決算	26年度上期決算	増減	25年度上期決算	26年度上期決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ＆ヘルスケア・ソリューション	1,153	1,346	193	130	127	△ 3	31	△ 1	△ 33
モビリティソリューション	2,582	3,004	422	260	366	106	0	115	△ 9
ICTソリューション	1,370	1,592	222	178	248	70	38	46	△ 14
成長領域 (売上収益コア営業利益率)	5,105	5,942	837	568 (11.1%)	741 (12.5%)	173	69	160	△ 56
ベーシック＆グリーン・マテリアルズ	2,956	3,765	809	△ 105	282	387	△ 4	332	59
その他	75	84	9	△ 18	△ 30	△ 12	-	-	△ 12
合計	8,136	9,791	1,655	445	993	548	65	492	△ 9

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

5 - 1 ） ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向（対前年同期）

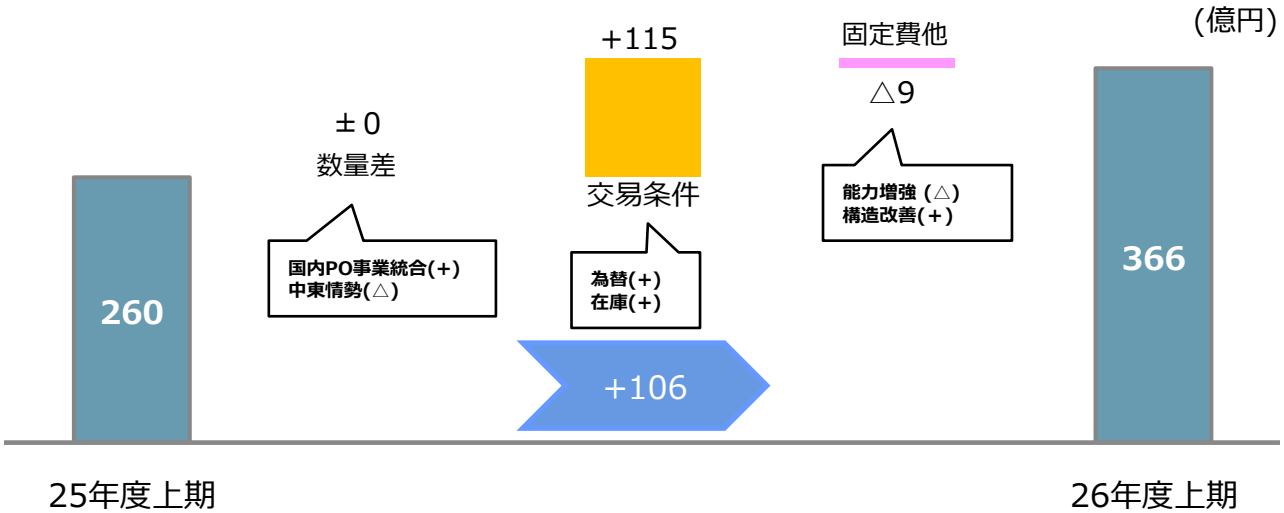
	26年度上期決算/事業動向			増減
	動向	主要増加要因(＋)	主要減少要因(△)	
ビジョンケア	↗	・高屈レンズ需要拡大による販売数量増加 ・25年度一過性(大牟田工場トラブル影響)の解消	能力増強検討に伴う固定費増加等	数量(＋) 一過性解消(＋) 固定費(△)
オーラルケア	↗(一過性除く)	・UPI新規連結による販売の増加 ・Kulzer事業構造改善効果の発現	UPI取得に伴う一過性費用等	数量(＋) 構造改善(＋) 一過性費用(△)
農業化学品	↘	－	海外向け販売の下期へのずれ込み	数量(△)



Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

5 - 2 ） モビリティソリューション:コア営業利益増減/事業動向（対前年同期）

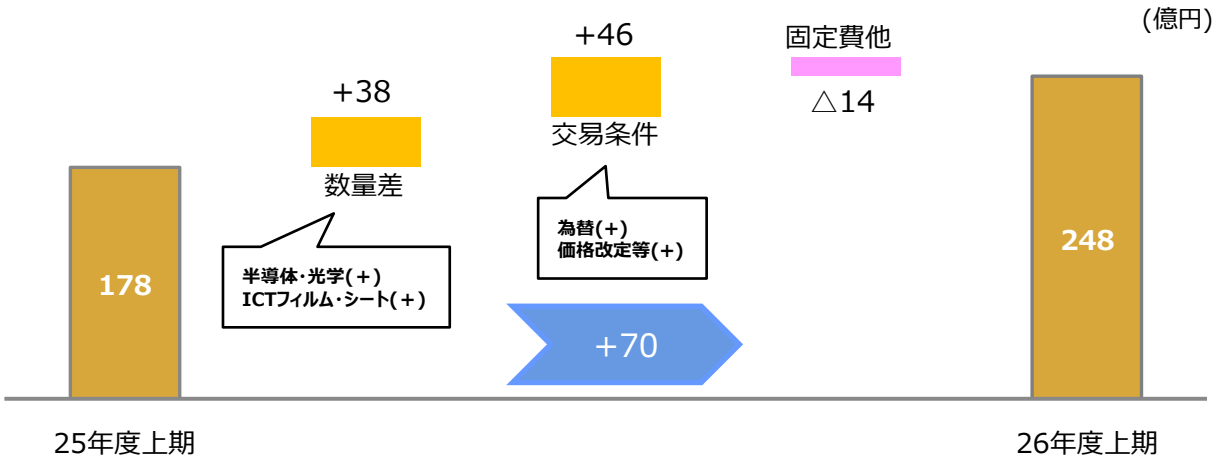
	26年度上期決算/事業動向			増減
	動向	主要増加要因(＋)	主要減少要因(△)	
エラストマー	↘	円安による為替差益	・中東情勢の影響による減産に伴う販売数量減少 ・能力増強による償却費等の固定費増加	数量(△) 為替(+) 固定費(△)
複合材料 (PPコンパウンド・ 機能性コンパウンド)	↗	・国内ポリオレフィン事業統合による販売の増加 ・円安による為替差益 ・原料価格上昇に伴う一過性の在庫評価益等	―	数量(+) 為替(+) 在庫(+)
ソリューション事業	→	事業構造改善効果の発現	中東情勢を起因としたOEM開発費抑制に伴う受注減	数量(△) 構造改善(+)



Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

5 - 3 ） ICTソリューション:コア営業利益増減/事業動向（対前年同期）

	26年度上期決算/事業動向			増減
	動向	主要増加要因(＋)	主要減少要因(△)	
半導体・光学	↗	・半導体向けを中心とした需要増加 ・円安による為替差益	次世代EUV露光用CNTペリクル立ち上げ費用	数量(＋) 為替(＋) 固定費(△)
コーティング・機能材	→	円安による為替差益	－	為替(＋)
ICTフィルム・シート	↗	・半導体向けを中心とした需要増加 ・円安による為替差益	拡販に向けたコスト等の増加	数量(＋) 為替(＋) 固定費(△)
不織布	→	・固定費の縮小	－	固定費(＋)

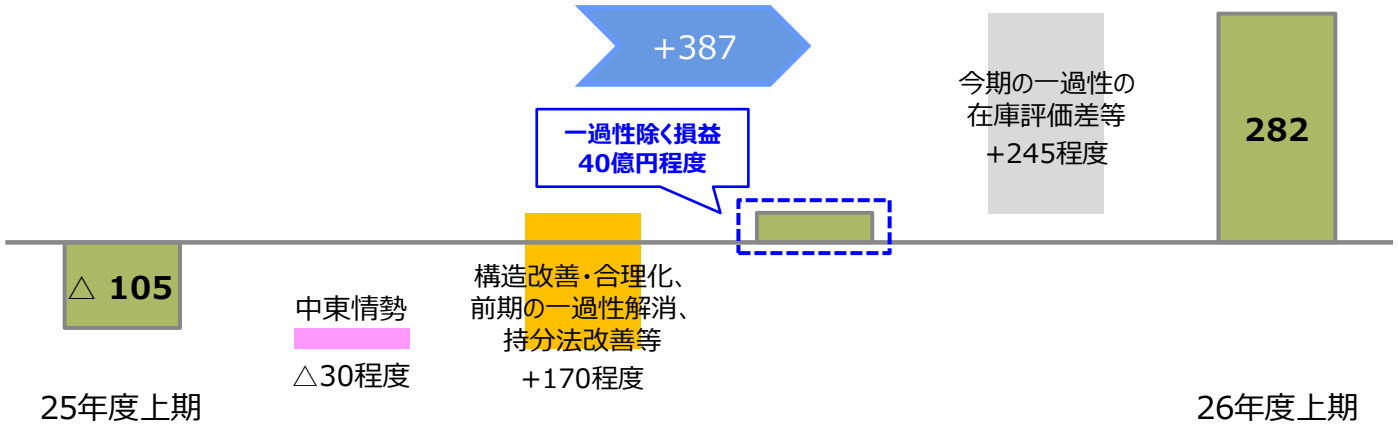


Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

5-4 ）ベーシック＆グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向（対前年同期）

	26年度上期決算/事業動向			増減
	動向	主要増加要因(＋)	主要減少要因(△)	
石化	↗	・国内ポリオレフィン事業統合による販売の増加 ・原料価格上昇に伴う一過性の在庫評価益等 ・25年度一過性(大阪クラッカー再点検停止影響)の解消 ・合理化等	中東情勢の影響による減産に伴う販売数量減少 および エネルギー効率悪化	数量(+) 交易条件(△) 在庫(+) 一過性解消(+)
基礎化	↗	・原料価格上昇に伴う一過性の在庫評価益等 ・事業構造改善効果の発現、合理化等	中東情勢の影響による減産に伴う販売数量減少	数量(△) 在庫(+) 構造改善(+)
ウレタン	↗	・事業構造改善効果の発現 ・持分法投資損益の増加 ・25年度一過性(大牟田工場トラブル影響)の解消	ー	構造改善(+) 持分法(+) 一過性解消(+)

(億円)



Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

6）非経常項目の内訳

（単位：億円）

摘　　要	25年度 上期決算	26年度 上期決算	増減
減　損　損　失	△ 125	△ 14	111
関　連　事　業　損　失	△ 22	△ 0	22
そ　の　他	△ 19	△ 41	△ 22
非経常項目　合計	△ 166	△ 55	111

主な減損損失の内訳

25年度 上期	中国PH事業JV持分譲渡* △124	26年度 上期	－

*中国PH事業JV持分譲渡：25.3Qでの為替換算調整勘定の実現益 +45億円により、総影響額は △79億円

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

7）財政状態計算書

（単位：億円）

摘　要	26年3月末	26年9月末	増減
流動資産	(9,932)	(11,684)	(1,752)
現金及び現金同等物	1,831	2,051	220
営業債権	3,276	3,551	275
棚卸資産	4,145	5,230	1,085
その他	680	852	172
非流動資産	(11,585)	(13,083)	(1,498)
有形固定資産及び使用権資産	7,208	7,541	333
のれん及び無形資産	980	2,052	1,072
非流動のその他の資産	3,397	3,490	93
合計	21,517	24,767	3,250

摘　要	26年3月末	26年9月末	増減
負債	(11,629)	(14,351)	(2,722)
営業債務	1,336	2,103	767
有利子負債	7,958	9,588	1,630
その他	2,335	2,660	325
資本	(9,888)	(10,416)	(528)
親会社の所有者に帰属する持分	8,647	8,896	249
非支配持分	1,241	1,520	279
合計	21,517	24,767	3,250

総資産は、原材料価格の上昇に伴う棚卸資産等の増加に加え、UPI取得に伴う非流動資産の増加を主因に、
対前年度末3,250億円増加の24,767億円となった。

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

8）キャッシュ・フロー計算書

（単位：億円）

摘　　要	25年度 上期決算	26年度 上期決算	増減
Ⅰ．営業活動によるキャッシュ・フロー（A）	1,272	911	△ 361
(うち運転資本)	645	△ 218	△ 863
Ⅱ．投資活動によるキャッシュ・フロー（B）	△ 576	△ 1,812	△ 1,236
(うち事業売却等による収入)	97	14	△ 83
フリーキャッシュ・フロー（A＋B）	696	△ 901	△ 1,597
Ⅲ．財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 728	1,142	1,870
Ⅳ．その他（現金等に係る換算差額）	15	△ 21	△ 36
現金及び現金同等物増減	△ 17	220	237

・営業活動によるキャッシュ・フロー：
　原材料価格の上昇に伴う運転資本の増加を主因に、前年同期比 361億円減少の 911億円となった。
・投資活動によるキャッシュ・フロー：
　UPI取得による支出等により、△1,812億円となった。

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

3. 2026年度業績予想の概要

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

1 - 1 ） 業績予想の概要（対前年）

（単位：億円）

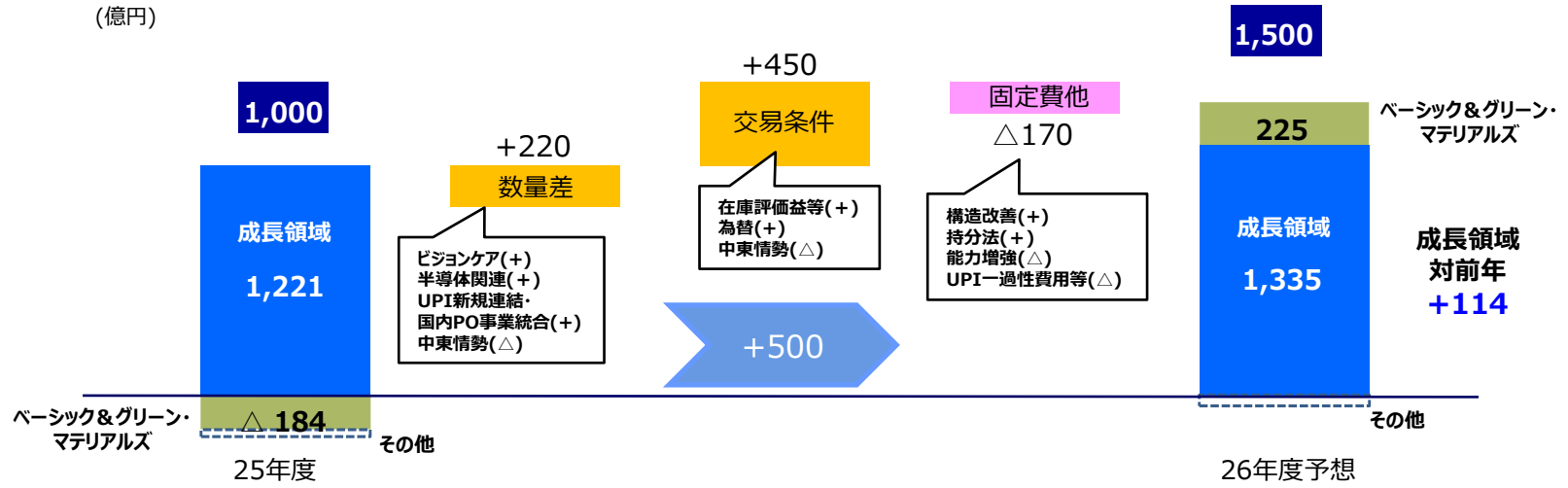
摘　　要	25年度決算		26年度予想		増減		26年度期初予想(26.5.13発表)
	上期	年度(a)	上期	年度(b)	年度(b)-(a)	%	年度
売上収益	8,136	16,688	9,791	20,950	4,262	26%	19,000
コア営業利益	445	1,000	993	1,500	500	50%	1,050
非経常項目	△ 166	△ 262	△ 55	△ 380	△ 118	–	△ 220
営業利益	279	738	938	1,120	382	52%	830
金融収益・費用	△ 17	△ 52	△ 32	△ 110	△ 58	–	△ 90
税引前利益	262	686	906	1,010	324	47%	740
親会社の所有者に帰属する当期利益	78	344	588	530	186	54%	450
為替レート(円/US$)	146	151	159	157	+ 6		155
国産ナフサ(円/KL)	64,900	65,300	108,350	101,700	+ 36,400		95,000

	中間	通期	中間	通期	増減	通期
配当	37.5 円/株	75 円/株	37.5 円/株	75 円/株	–	75 円/株

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

1 - 2 ） 業績予想の概要：コア営業利益（対前年）

項目	内容	
	主な増加要因(＋)	主な減少要因(△)
数量	・ビジョンケアは、高屈レンズ需要拡大により販売数量増加 ・半導体関連は、生成AIの拡大による先端領域での需要増加 ・UPI新規連結・国内ポリオレフィン事業統合による販売の増加	中東情勢の影響による減産に伴う販売数量減少
交易条件	・原料価格上昇に伴う一過性の在庫評価益等 ・円安による為替差益	中東情勢の影響による減産に伴う収率・エネルギー効率の悪化
固定費他	・事業構造改善効果の発現 ・持分法投資損益の改善	・能力増強による償却費等の固定費増加 ・UPI取得に伴う一過性費用等



Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

2）セグメント別 売上収益/コア営業利益予想（対前年）

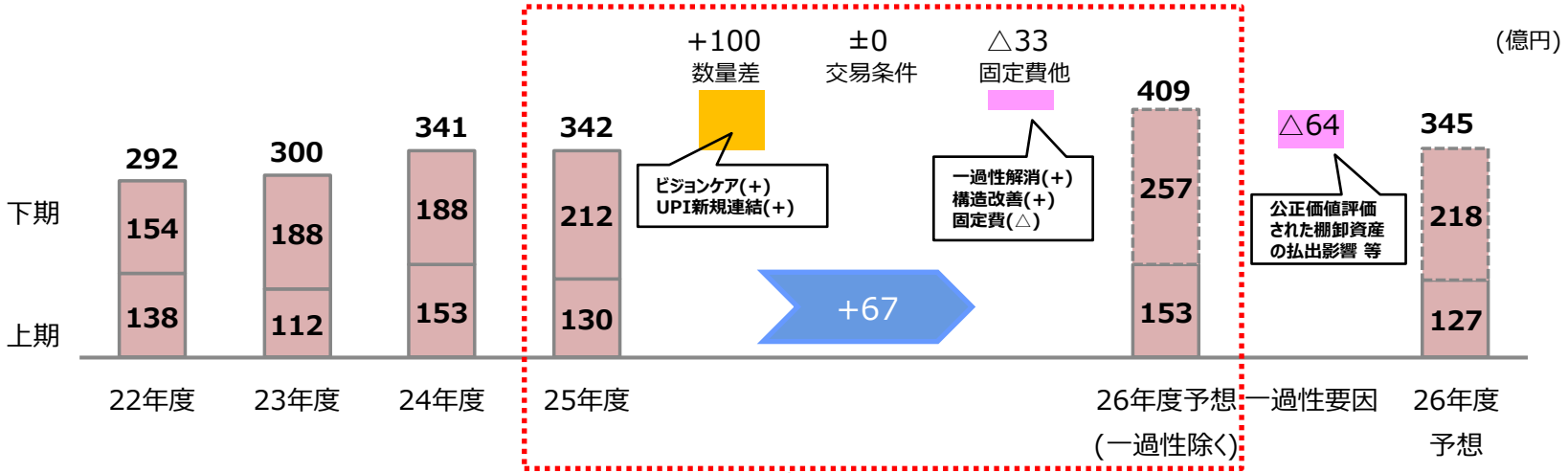
（単位：億円）

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	25年度決算	26年度予想	増減	25年度決算	26年度予想	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ＆ヘルスケア・ソリューション	2,591	3,300	709	342	345	3	100	0	△ 97
モビリティソリューション	5,154	6,200	1,046	510	510	0	25	50	△ 75
ICTソリューション	2,795	3,300	505	369	480	111	85	65	△ 39
成長領域 (売上収益コア営業利益率)	10,540	12,800	2,260	1,221 (11.6%)	1,335 (10.4%)	114	210	115	△ 211
ベーシック＆グリーン・マテリアルズ	5,999	8,000	2,001	△ 184	225	409	10	335	64
その他	149	150	1	△ 37	△ 60	△ 23	-	-	△ 23
合計	16,688	20,950	4,262	1,000	1,500	500	220	450	△ 170

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

3 - 1 ） ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向（対前年）

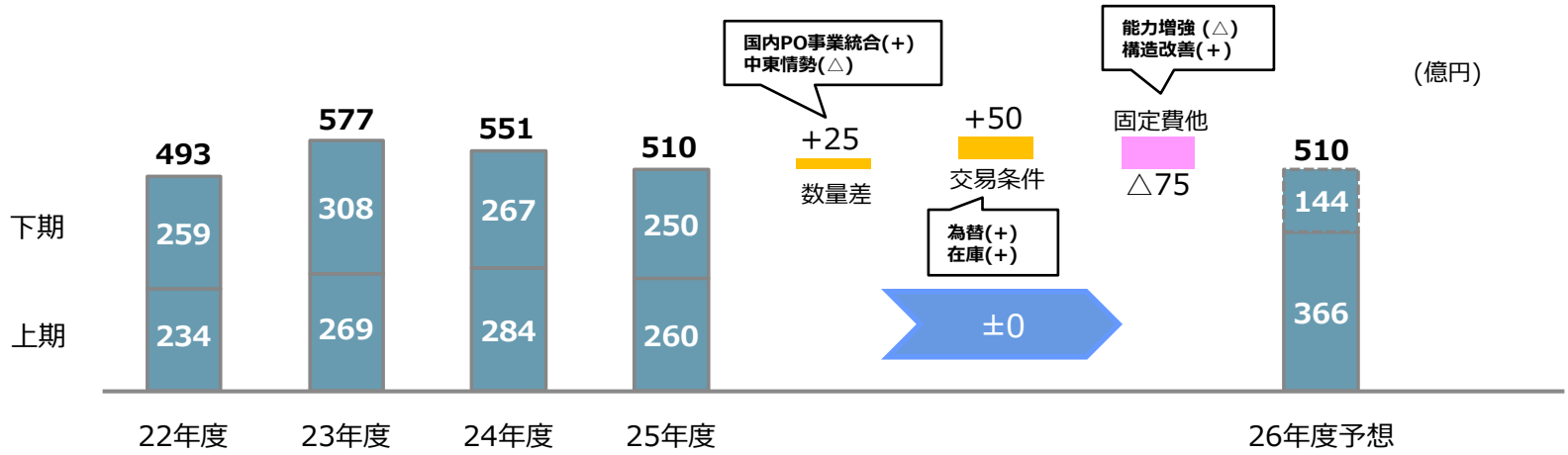
	26年度予想/事業動向			増減
	動向	主要増加要因(＋)	主要減少要因(△)	
ビジョンケア	↗	・高屈レンズ需要拡大による販売数量増加 ・25年度一過性(大牟田工場トラブル影響)の解消	・能力増強検討に伴う固定費増加	数量(＋) 一過性解消(＋) 固定費(△)
オーラルケア	↗ (一過性除く)	・UPI新規連結による販売の増加 ・Kulzer事業構造改善効果の発現	UPI取得に伴う一過性費用等	数量(＋) 構造改善(＋) 一過性費用(△)
農業化学品	→	グローバルの販売堅調	–	–



Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

3 - 2 ） モビリティソリューション:コア営業利益増減/事業動向（対前年）

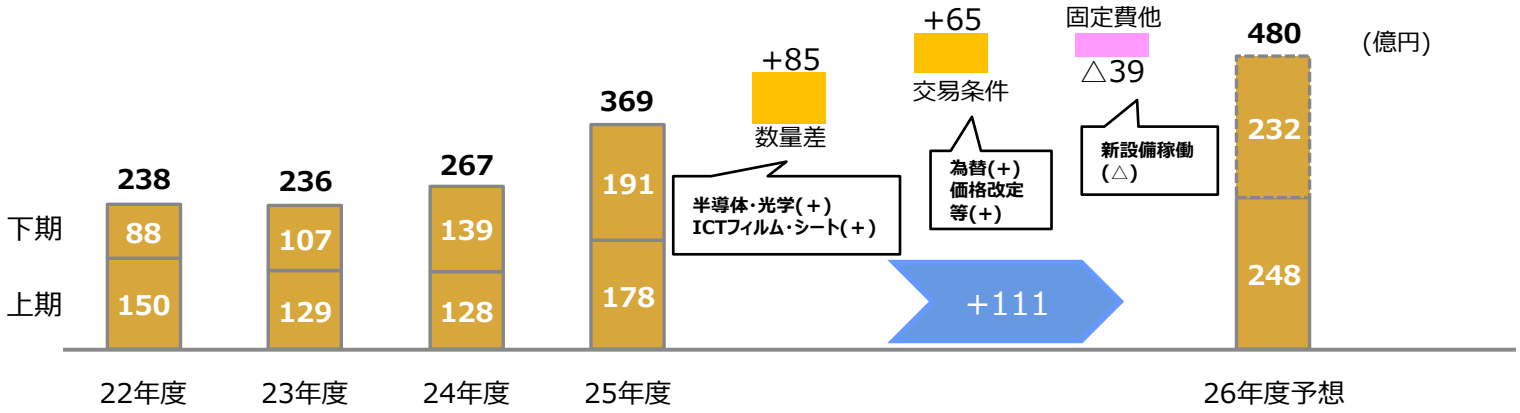
	26年度予想/事業動向			増減
	動向	主要増加要因(＋)	主要減少要因(△)	
エラストマー	↘	円安による為替差益	・中東情勢の影響による減産に伴う販売数量減少 ・能力増強による償却費等の固定費増加	数量(△) 為替(＋) 固定費(△)
複合材料 (PPコンパウンド・ 機能性コンパウンド)	↗	・国内ポリオレフィン事業統合による販売の増加 ・円安による為替差益 ・原料価格上昇に伴う一過性の在庫評価益等	新プラント稼働による償却費等の固定費増加	数量(＋) 為替(＋) 在庫(＋) 固定費(△)
ソリューション事業	→	事業構造改善効果の発現	中東情勢を起因としたOEM開発費抑制に伴う受注減	数量(△) 構造改善(＋)



Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

3 - 3 ） ICTソリューション：コア営業利益増減/事業動向（対前年）

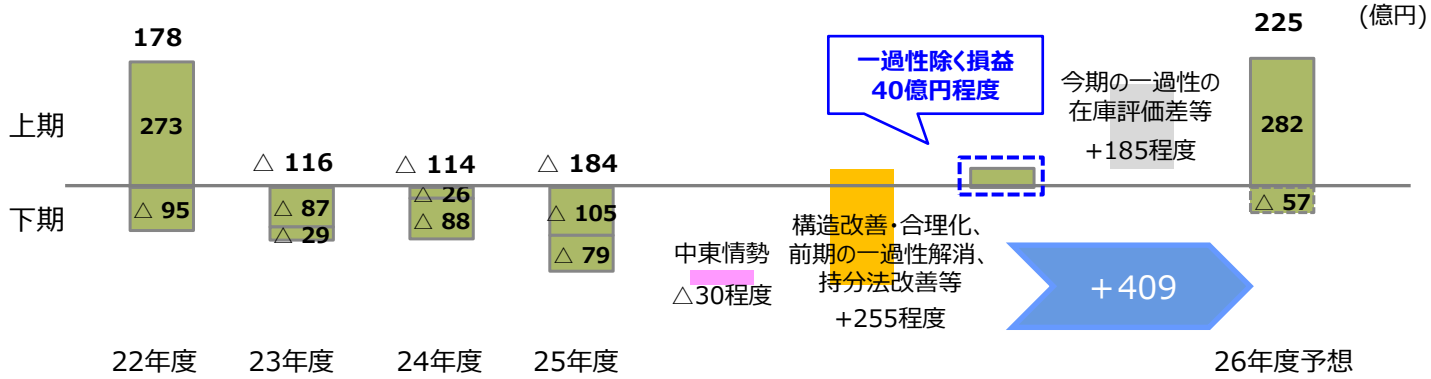
	26年度予想/事業動向			増減
	動向	主要増加要因(＋)	主要減少要因(△)	
半導体・光学	↗	・半導体向けを中心とした需要増加 ・円安による為替差益	・次世代EUV露光用CNTペリクル立ち上げ費用及び新設備稼働による償却費等の増加	数量(＋) 為替(＋) 固定費(△)
コーティング・機能材	↗	・販売は堅調に推移 ・円安による為替差益	－	数量(＋) 為替(＋)
ICTフィルム・シート	↗	・半導体向けを中心とした需要増加 ・円安による為替差益	拡販に向けたコスト等の増加	数量(＋) 為替(＋) 固定費(△)
不織布	→	・固定費の縮小	－	固定費(＋)



Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

3-4 ）ベーシック＆グリーン・マテリアルズ：コア営業利益増減/事業動向（対前年）

	26年度予想/事業動向			増減
	動向	主要増加要因(＋)	主要減少要因(△)	
石化	↗	・国内ポリオレフィン事業統合による販売の増加 ・原料価格上昇に伴う一過性の在庫評価益等 ・25年度一過性(大阪クラッカー再点検停止影響)の解消 ・合理化等	・中東情勢の影響による減産に伴う販売数量減少 および エネルギー効率悪化 ・修繕費等の増加	数量(+) 交易条件(△) 在庫(+) 一過性解消(+) 固定費(△)
基礎化	↗	・原料価格上昇に伴う一過性の在庫評価益等 ・事業構造改善効果の発現、合理化等	中東情勢の影響による減産に伴う販売数量減少	数量(△) 在庫(+) 構造改善(+)
ウレタン	↗	・事業構造改善効果の発現 ・持分法投資損益の増加 ・25年度一過性(大牟田工場トラブル影響)の解消	－	構造改善(+) 持分法(+) 一過性解消(+)



Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

４ ） セグメント別 コア営業利益増減（上期→下期）

（単位：億円）

セグメント	26年度 コア営業利益			主要増減要因
	上期 決算	下期 予想	増減	
ライフ＆ヘルスケア・ソリューション	127	218	91	数量(＋) 農業化学品・オーラルケア、UPI取得に伴う一過性費用(△)
モビリティソリューション	366	144	△ 222	数量(+)、在庫評価差等(△)、固定費(△)
ICTソリューション	248	232	△ 16	数量(+)、固定費(△)
成長領域	741	594	△ 147	
ベーシック＆グリーン・マテリアルズ	282	△ 57	△ 339	在庫評価差等(△)、上期大阪定修(+)、下期租税公課(△)
その他	△ 30	△ 30	0	
合計	993	507	△ 486	

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

5）キャッシュ・フロー計算書の予想

（単位：億円）

摘　　要	25年度決算		26年度予想		増減
	上期	年度(a)	上期	年度(b)	年度 (b)-(a)
Ⅰ．営業活動によるキャッシュ・フロー（Ａ）	1,272	2,130	911	1,500	△ 630
Ⅱ．投資活動によるキャッシュ・フロー（Ｂ）	△ 576	△ 1,348	△ 1,812	△ 2,610	△ 1,262
フリーキャッシュ・フロー（Ａ＋Ｂ）	696	782	△ 901	△ 1,110	△ 1,892
Ⅲ．財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 728	△ 759	1,142	1,110	1,869
Ⅳ．その他（現金等に係る換算差額）	15	102	△ 21	0	△ 102
現金及び現金同等物増減	△ 17	125	220	0	△ 125

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

4. 補助資料

１）製品価格の状況
２）売上収益の増減概要（対前年同期）
３）セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）
４）業績予想概要：コア営業利益（対期初予想）
５）セグメント情報
６）データハイライト

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

1 ） 製品価格の状況

（ＰＥ国内、ＰＰ国内、ＰＨ国内、ＢＰＡ国内：国内価格改定幅）

年		2023年	2024年				2025年				2026年		
月		10～12月	1～３月	4～6月	7～9月	10～12月	1～３月	4～6月	7～9月	10～12月	1～３月	4～6月	7～9月
国産標準ﾅﾌｻ価格	(円／KL)	72,800	72,500	79,100	76,900	73,200	73,400	66,400	63,400	65,600	65,700	118,900	97,800
ＰＥ国内	(円／KG)	+20円程度	△3円程度	+22円程度	△5円程度	△7円程度	△1円程度	△11円程度	△5円程度	+4円程度	→	+110円程度	△50円程度
ＰＰ国内	(円／KG)	+20円程度	△3円程度	+22円程度	△5円程度	△7円程度	△1円程度	△11円程度	△5円程度	+4円程度	→	+110円程度	△50円程度
ＰＨ国内（ﾌｫｰﾐｭﾗ価格）	(円／KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
ＢＺ（＊ＡＣＰ）	($／T)	$950	$995	$1,085	$1,040	$930	$930	$770	$765	$700	$750	$1,100	$955
ＢＰＡ国内	(円／KG)	→	→	+19円（６月～）	→	△14円（10月～）	△10円（1月～）	→	△25円（9月～）	+5円（10月～）	+2円（2月～）	+65円（4月～）	+20円（9月～）
		BZ/BPA市況をベースに都度交渉											
ＴＤＩ中国市況	($／T)	$1,950	$1,920	$1,950	$1,880	$1,750	$1,780	$1,560	$1,690	$1,680	$1,980	$2,380	$2,140

＊ ACP　アジア圏契約価格

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

2 ）売上収益の増減概要（対前年同期）

（単位：億円）

セグメント	売上収益			増減内訳		主要増減要因
	25年度 上期決算	26年度 上期決算	増減	数量差	価格差	
ライフ＆ヘルスケア・ソリューション	1,153	1,346	193	153	40	数量）ビジョンケアの販売は堅調(＋)、UPI新規連結(＋) 価格）原燃料価格上昇による価格改定(＋)、為替影響等(＋)
モビリティソリューション	2,582	3,004	422	15	407	数量）国内ポリオレフィン事業統合(＋)、中東情勢の影響(△) 価格）原燃料価格上昇による価格改定(＋)、為替影響等(＋)
ICTソリューション	1,370	1,592	222	69	153	数量）半導体関連の販売は堅調(＋) 価格）原燃料価格上昇による価格改定(＋)、為替影響等(＋)
成長領域	5,105	5,942	837	237	600	
ベーシック＆グリーン・マテリアルズ	2,956	3,765	809	△ 25	834	数量）国内ポリオレフィン事業統合(＋)、事業構造改善(プラント停止等)(△)、中東情勢の影響(△)、他 価格）原燃料価格上昇による価格改定(＋)
その他	75	84	9	-	9	
合計	8,136	9,791	1,655	212	1,443	

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

3 ）セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）

（単位：億円）

セグメント	売上収益						
	25年度				26年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	下期予想
ライフ＆ヘルスケア・ソリューション	563	590	588	850	622	724	1,954
モビリティソリューション	1,302	1,280	1,246	1,326	1,425	1,579	3,196
ICT ソリューション	690	680	714	711	778	814	1,708
成長領域	2,555	2,550	2,548	2,887	2,825	3,117	6,858
ベーシック＆グリーン・マテリアルズ	1,562	1,394	1,469	1,574	1,736	2,029	4,235
その他	37	38	34	40	39	45	66
合計	4,154	3,982	4,051	4,501	4,600	5,191	11,159

セグメント	コア営業利益						
	25年度				26年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	下期予想
ライフ＆ヘルスケア・ソリューション	62	68	40	172	68	59	218
モビリティソリューション	146	114	115	135	148	218	144
ICT ソリューション	90	88	107	84	111	137	232
成長領域	298	270	262	391	327	414	594
ベーシック＆グリーン・マテリアルズ	△ 29	△ 76	△ 23	△ 56	198	84	△ 57
その他	△ 3	△ 15	△ 4	△ 15	△ 24	△ 6	△ 30
合計	266	179	235	320	501	492	507

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

４ ） 業績予想概要：コア営業利益（対期初予想）

（単位：億円）

セグメント	26年度 コア営業利益			主要増減要因
	期初予想 (26.5.13発表)	今回予想	増減	
ライフ＆ヘルスケア・ソリューション	380	345	△ 35	UPI新規連結による販売増加(＋)、UPI取得に伴う一過性費用(△)
モビリティソリューション	510	510	0	数量(△)、交易条件(＋)
ＩＣＴソリューション	410	480	70	数量(＋)、交易条件(＋)
成長領域	1,300	1,335	35	
ベーシック＆グリーン・マテリアルズ	△ 30	225	255	在庫(＋)、合理化等(＋)
その他	△ 220	△ 60	160	中東情勢の影響を各セグメントに計上(＋)
合計	1,050	1,500	450	

為替レート(円/US$)	155	157	＋ 2
国産ナフサ(円/KL)	95,000	101,700	＋ 6,700

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

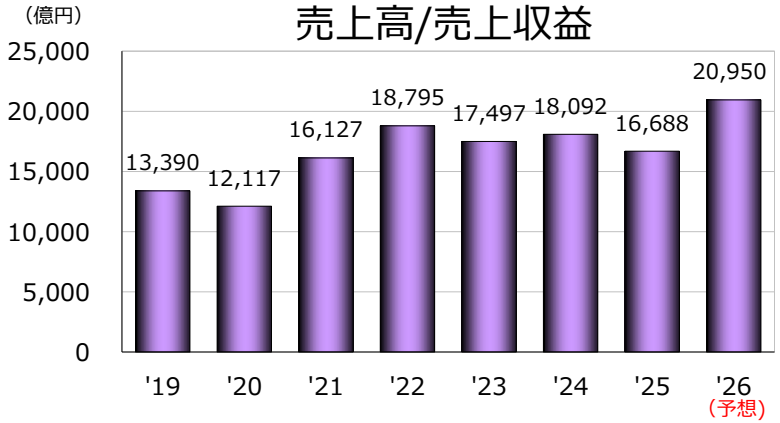
5）セグメント情報

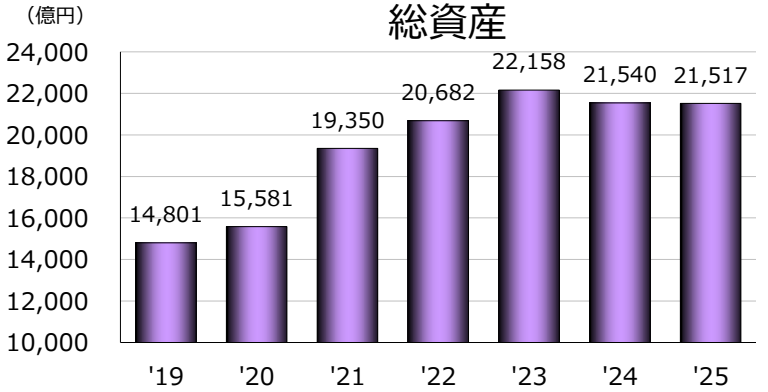
セグメント	事業分野	主な製品等
ライフ＆ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、 パーソナルケア、オーラルケア、 農業化学品、 医療事業推進室	プラスチックメガネレンズ材料（MR™、Do Green™）、 メディカル材料（タウリン）、 オーラルケア材料（充填材料、接着材料、ホワイトニング、デジタル機器）、 農業化学品（ジノテフラン、テネベナール®）
モビリティソリューション	エラストマー重合、 複合材料、 ソリューション事業	タフマー®、三井EPT™、ルーカント®、 PPコンパウンド、機能性コンパウンド（アドマー®、ミラストマー®、アーレン®） ARRK　KYOWA
ICTソリューション	半導体・光学材料、 コーティング機能材、 ICTフィルム・シート、不織布、 ICT材料事業推進室	三井ペリクル™（EUV、DUV、FPD）、アペル®、TPX®、半導体用ガス、 高機能食品包装材料（シーラント、接着剤、コート剤、環境対応包材）、 ICTフィルム・シート（イクロステープ™、SP-PET™）、 不織布（衛生材料、産業資材）
ベーシック＆グリーン・マテリアルズ	フェノール、 インダストリアルケミカルズ、 サステナブル・フィードストックス、 ポリオレフィン、ライセンス、 ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業	フェノール、ビスフェノールA、アセトン、 EO、ハイドロキノン、アンモニア、排ガス低減剤（アドブルー®*）、 ポリオレフィン、TDI、MDI *アドブルーはドイツ自動車工業会の登録商標です。

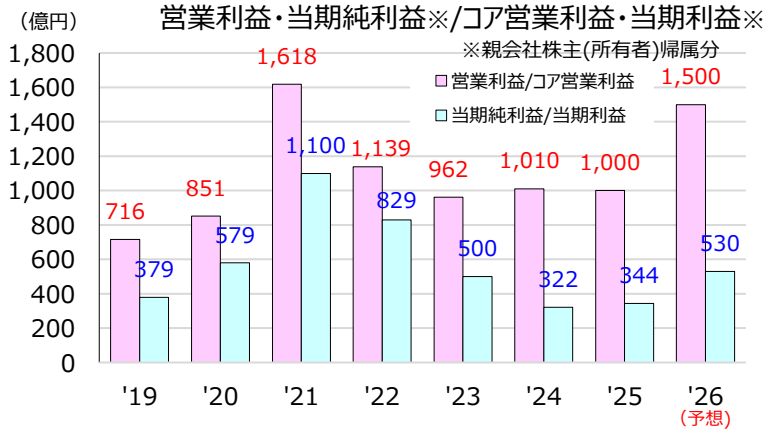
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

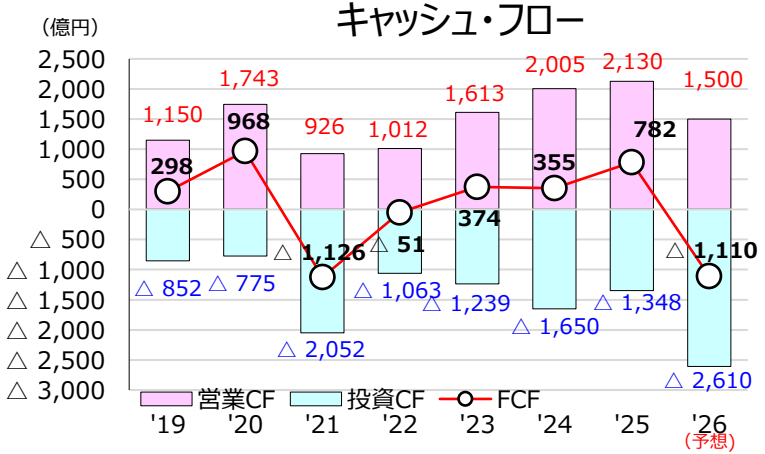
6 - 1 ） データハイライト

注）19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS





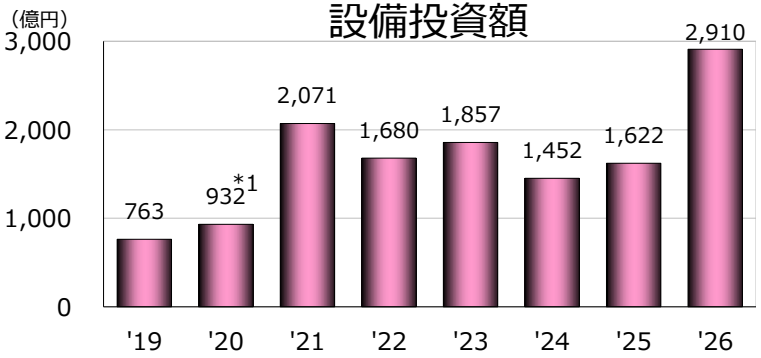




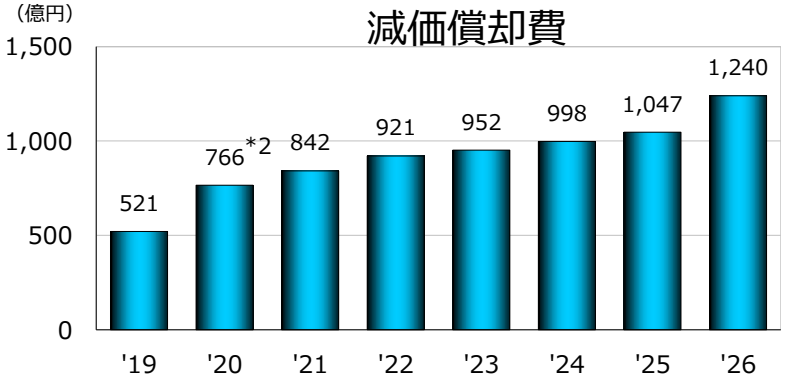
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

6 - 2 ） データハイライト

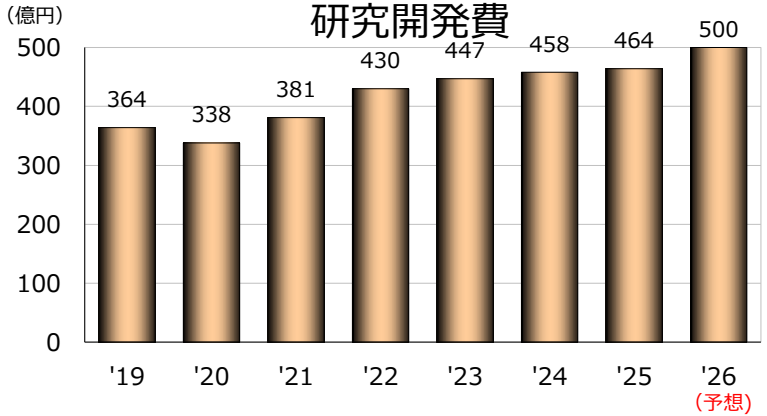
注）19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

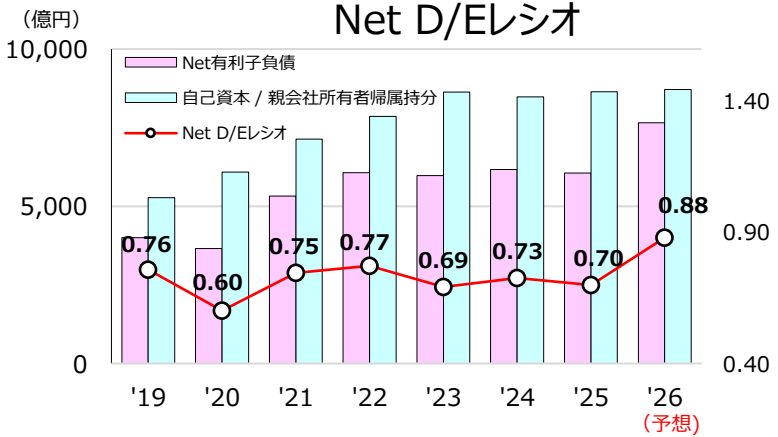


*1. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む



*2. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む





Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World

三井化学

Challenge　Diversity　One Team

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.